

# 政府の教育政策が経済成長に及ぼす影響についての研究

岡田 光平 \*

## 概要

本研究では、3 期間の世代重複モデルに Rivera-Batiz and Romer(1991) タイプの財の種類が R&D に よって拡大していく R&D 成長過程を導入した。その上で、個人の教育費用の借入りのメカニズムを導 入し拡張を行った。このモデルを用いて、個人が (1) 政府が政策的に決定した利率で奨学金として教育費 用を借り入れるケースと、(2) 金融市場に直接アクセスし市場利率で教育費用を借り入れるケースとの比 較を行った。その結果、個人が金融市場から市場利率で教育費用を借り入れる場合は長期的に経済が成長 できるにも関わらず、政府が奨学金の利率を過度に低く設定して個人に貸し付けることで、経済の長期的 な成長が阻害される可能性を示した。また、教育を受けた熟練労働者のスキルプレミアムが大きい場合に長 期的な経済の成長が達成されにくくなる可能性にも言及する。

---

\* 大阪大学大学院経済学研究科